

川崎市中原区社会福祉協議会

令和2年度 事業報告

◆重点事業◆

1 地域福祉活動の推進

地区社協や福祉団体等への活動経費の一部助成を通じて、地域福祉活動や在宅福祉活動を育成支援しました。また、子育て中の親を対象に講座等を開催し、わが子を前に感じる悩みや不安に対して、子どもと共に親として成長していくきっかけになるような取り組みを行いました。

地域福祉活動拠点における新たな取り組みについては、新型コロナウイルスの影響で検討するまでには至りませんでした。

2 ボランティア活動の推進

ボランティアセンター運営委員会を年3回開催し、ボランティア団体の育成や強化の一環として講座や研修等の企画を計画しましたが、新型コロナの影響により中止となりました。

ボランティア銀行では、感染対策用品の購入等に対し、一部助成を行うことで、地域福祉活動の支援を行いました。

また、広報については、ボランティア情報誌「ボポラーレ」を年4回（1，400部）発行し、福祉教育事業の紹介やNECの社員による「玉川プロボノ倶楽部」の紹介、川崎市社協が取り組む地域生活支援SOSかわさき事業「食料支援かわさき」の募集を掲載することで、ボランティアセンターの機能と充実に向けた取り組みを行いました。

3 広報啓発活動、組織体制の強化

正副会長会議や常任委員会、各委員会を開催し、適切な組織運営やネットワークの強化に努めると共に、多様な相談に対応するための体制づくりの検討を行いました。また、第4期地域福祉活動計画（令和3年度～令和5年度）を策定し、「みんなが主役」、「みんなにわかる」、「みんなでつくる」おたがいさまの心で満ち溢れるなかはらの福祉を実現するために、地域住民に実践的な取り組みを示し、積極的な参画を促すことで、地域福祉の推進に努めました。

地域の福祉情報や社協事業の紹介、ボランティア情報等、広く住民に発信するための広報紙「社協なかはら」を年3回（88，000部）発行すると共に、なかはら編集委員会を開催し、福祉サービスの情報の充実に向け積極的に取り組みました。

多くの人が集まる事業については、本会、正副会長会議や各種委員会において、開催に向け検討をしましたが、感染拡大防止のため、中止や縮小を余儀なくされる結果となりました。

事業報告の内容

中原区社会福祉協議会 事業費【71,795,054円】

【サービス区分事業活動支出 56,360,897円】

【内、共同募金配分金 15,434,187円】

1 中原区社会福祉協議会運営事業

(1) 常任委員会、運営協議会の開催

- ア 常任委員会の開催 4回（5月※書面にて決議、6月※書面にて決議、9月25日、2月※書面にて決議）
- イ 運営協議会の開催 1回（2月※書面にて決議、）
- ウ 正副会長会議の開催 3回（5月28日、11月10日、2月16日）

(2) 令和2年度会員及び賛助会員数

	R2実績	H31実績
会員数	114	112
賛助会員数	1767	1845

(3) 種別会議

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

(4) 寄付金品の受け入れ

合計 264,424円

2 調査・研究事業

(1) 第4期地域福祉活動計画の策定

- ア 常任委員会にて確認（2月※書面にて決議）
- イ 運営協議会にて確認（2月※書面にて決議）

3 研修事業

(1) 常任委員会委員及び運営協議会委員研修会の開催

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

4 企画・広報事業

(1) 第24回なかはら福祉健康まつりの開催

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

(2) 充実した福祉情報を発信するための広報紙「社協なかはら」の発行

ア 広報紙「社協なかはら」年3回

118号(88,000部)、119号(88,000部)発行

120号(88,000部)

(3) ホームページを活用した地域活動紹介と啓発活動の推進

ア ホームページでの情報発信

中原区社会福祉協議会 ホームページ (www.nakaharaku-shakyo.jp)

5 地域福祉活動事業

(1) 福祉関係交流集会(第24回なかはら健康福祉まつり)

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

(2) 保有物品の貸出

高齢者疑似体験グッズ等 10件

(3) 障害者(児)リフレッシュ事業

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

(4) 福祉パルを活動拠点としている団体へのキャビネットの貸出し

キャビネット貸出し 18団体

(5) 車いすの貸出

区民への車いす無料貸出 119件

(6) 福祉用具の再利用

ア 譲りたい要望 27件

イ 譲ってほしい要望 18件

ウ 譲渡成立件数 12件

6 団体等助成事業

(1) 地区社会福祉協議会等への助成

区内地区社協、地区民協 8団体

計 1,478,230円

福祉活動 11団体

計 196,320円

(2) 社会を明るくする運動への助成

令和2年度は申請なし

(3) 高齢者ふれあい活動実施団体への助成

ア	会食活動に助成	6団体	計	1,775,000円
イ	配食活動に助成	1団体	計	215,000円
ウ	ミニデイサービス活動に助成	1団体	計	206,000円

エ 高齢者ふれあい活動実施団体交流会（研修会）の開催

※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

7 連絡・調整事業

(1) 地区社会福祉協議会会長連絡会の開催

地区社協会長・地区民協会長会議 1回（7月20日）

(2) 関係機関が開催する連絡会議等への出席

(3) 会員への情報提供

会員向け情報紙「なかはらタイムズ」を毎月発行。

8 共同募金事業

(1) 福祉ニーズを持つ世帯への年末支援金配分事業

年末支援金配布 724世帯・計 3,620,000円

(2) 障がい者福祉啓発事業（障がい者福祉に関する講座の開催）

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

(3) 子育て支援事業

ア 子育てグループに助成金配布 11団体 計 276,000円

イ 講座「～子育て・親育ち～こころの子育て講座」の開催

(4) ボランティア・当事者団体への活動助成

14団体 計 411,667円

9 福祉パル管理運営事業

(1) 研修室およびボランティアコーナーの貸出し

研修室 156件、ボランティアコーナー 35件

(2) 地域福祉活動に必要な印刷機等の機材、機器の貸出し

(3) 情報コーナーの設置によるチラシ・ポスター等の掲示

10 生活福祉資金貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付事業

- ア 通常貸付（新型コロナウイルス関係を除く）決定件数 4件
- イ 特例貸付（新型コロナウイルス関係）申請件数 3, 147件

11 ボランティア活動振興事業

(1) ボランティアセンター運営委員会の開催

運営委員会 3回（※6月書面開催、11月17日、※2月書面開催）

(2) ボランティア依頼および活動希望の相談・調整

- ア ボランティア活動希望への相談・情報提供 21件（平成31年度 19件）
- イ ボランティア募集の依頼 11件（平成31年度 35件）

(3) ボランティア情報誌の発行等、広報活動の実施

- ア 情報誌「ポポラーレ」年4回発行（4月、7月、10月、1月 各1400部）
- イ 広報活動 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

(4) 各種講座・セミナーの開催

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

(5) 福祉教育の推進

- ア 福祉教育に関する相談 13件

12 日常生活自立支援事業

(1) 日常生活自立支援事業および成年後見制度など、高齢者や障害者の権利擁護に関わる相談

相談件数 1, 933件（初回相談67件、継続相談1, 866件）

（※平成31年度相談件数 1, 696件／初回相談59件、継続相談1, 637件）

13 老人いこいの家運営等事業

(1) ミニデイケアサービス事業

参加人数 22名 ・ ボランティア 28名

(2) 夜間・休日等施設開放事業

利用人数 計228人

(3) 区内老人いこいの家利用者数

利用人数 計23, 967人

(4) 老人いこいの家運営委員会及び運営委員長会議の開催

ア 運営委員会 14回(6・2月※書面開催)

14 川崎市中原老人福祉センター事業

「老人福祉センター」の指定管理運営事業について、市社協と協働して適正な管理運営を実施した。

(1) 年間利用者数 13,839名

15 公益事業

(1) 高齢者外出支援事業(高齢者フリーパス交付)の実施

販売実績 延べ707件

16 災害活動関連事業

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

17 団体事務

関係する団体の事務局として運営・活動の支援協力を行った。

(1) 神奈川県共同募金会川崎区支会への協力

募金実績 23,798,025円 達成率 75.5%

(2) 中原区民生委員児童委員協議会

中原区民児協の事務局として、研修会の開催やその他各種会議等に協力

18 その他

(1) 川崎市社会福祉協議会が実施する事業に協力

川崎市社協が「地域生活支援SOSかわさき事業」の一環として行っている「食糧支援かわさき」に協力し、コロナ禍において生活に困窮されている方に対し、食糧支援を行いました。